



# 幸樹

こう じゅ

## 第 102 号

2023 年 9 月 1 日



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……………幸樹会事業所……………

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵・高橋 聖大

## 高橋不二子さんにお聞きしました

ご自宅におじゃますると、いつもお気に入りの椅子に座って、「いらっしやい。」と笑顔で迎えて下さいます。心臓に負担がかからないよう、ゆったり、マイペースで暮らしているらっしやる高橋不二子さんにお話を伺いました。

(聞き手：ケアステーションゆず 介護福祉士 加藤洋子)

東京の本所（現在の墨田区南部）、今も下町と呼ばれる人情味があふれるところで昭和11年に生まれました。お父さんは、鉄のプレス工場の社長さんで、1階は工場。よく兵隊さんが来ていたそうです。お母さんは、国防婦人会のリーダーで、年中出かけていて、家にいることが少なかったという印象。そのように、ご両親は大変忙しかつたので、不二子さんは、おじいちゃん、おばあちゃんのもとで、とても可愛がられて育ったそうです。

「江戸っ子ですね。」とお声掛けすると「そうよ。小学生の頃から浅草に友だち誘って出かけちゃって、叱られたものよ。」と懐かしそうに話されます。

小学校低学年の頃は、戦争真っ盛り、空襲警報が鳴ると、近所の子どもたちを集めて「大丈夫よ！不二子ちゃんがついているから！！」と励ましていたそうです。

そんな、活動的で、姉御肌な性格が見えるエピソードを話されたのですが、実は、引込み思案で、何かあるとすぐにベソをかいてしまうという一面もあり、「一人娘で、みんなにチャホヤされていたからかな。」とご自分で分析。「でも、中学校で出会った男の先生から、なんでも人任せにして、思うようにならないと泣けばいいと思うな！って叱られてね…これじゃだめだなって気づかされたのよ。これがきっかけで変わったのよね。恩師ですよ。感謝しているのよ。」と話されました。

「どんなお仕事をされていたんですか？」とお尋ねすると「警視庁よ。男社会で40年働いたわ。」とのこと。何故、警視庁を選ばれたのかをお聞きすると「そんな所は普通の人が行く場所じゃないって言われて、反抗心が湧いちゃって入っちゃったのよ。でも、本当だったわ。」と笑いながら話され、「そりゃ嫌な事も色々あったけど、それは忘れちゃったわ。お前は並みの女じゃないなって言われたことは、よく覚えているのよ。」とも。

男性の中で、物おじせず働く頼もしい不二子さんの姿が浮かんできました。



でも、職場にはいつも花を活けていたという優しくしなやかな姿も見えるエピソードも話してくださいました。

本が大好きとおっしゃる不二子さんのお宅には、様々なジャンルの本が並んでいます。お父さんが働いていた工場には、若い人たちがたくさんいて、幼い不二子さんに読み書きを教えてくれたことで、早くから字が読めるようになり、色々な本を読んでいたそうです。CDもたくさんあり、「どんな音楽が好きですか？」と尋ねると、「そうね、クラシックかな？」とのこと。でも、並んでいるのは、ベートーベン・イーグルス・井上陽水 etc…。クラシック・洋楽・邦楽…、なんと長唄にも興味があり、習ってお披露目もしたという多彩さです。お母さんは不二子さんに、お琴を習わせたかったのですが、素直には受け入れずピアノなら習うと言って、ショパンを弾くことを目標に練習したそうです。でも、戦時中は音が外に漏れるため、自由に弾くことができず、残念ながら、そのピアノは、昭和20年3月10日の東京大空襲で、工場や家と共に焼けてしまったそうです。

様々な文化への興味・関心をお持ちの不二子さんから、驚く話をお聞きしたのは、1枚の素敵な切り絵が、さりげなく床に置かれていたことに気付いた時です。「これは、どなたの切り絵ですか？」と尋ねると「私よ。私、妣田圭子（ひだけいこ）さんのお弟子だったのよ。」とサラリと話されました。

日本画「草絵」の創始者である妣田圭子さんに学んだというその切り絵は、日本の原風景がとても優しい色合いで表現されています。

時折、自由に歩けなくなってしまったことを嘆く言葉が聞かれますが、バイタリティーに富んでいる不二子さん、まだまだやれることがあります！「今度、一緒に歌いましょう。」とお誘いすると、笑顔で「そうね。」と答えてくださいました。



# 薬剤師 の こころ

## からたち薬局

薬剤師 片山真由美

### 「お薬のことなら何でもご相談ください」

からたち薬局に入職して9年目になりました。気付けば古株になっていました。

私は子供の頃、よく祖母の薬で遊んでいました。たくさん袋に入っていた薬を覚えています。

カプセルを外して中の粉薬を出したり、錠剤を潰したりして遊んでいました。不思議と飲んでみようとか、舐めてみようとは思わなかったので薬の大切さや怖さを子供心に感じていたのかもしれない。

間違っただけで子供が誤飲してしまうこともありますので、子供のいるご家族は、保管場所にも気を付けた方がよいですね。

今思えば祖母は真面目に薬を飲まない患者さんだったようです。子供の頃は飲まない薬がたくさんあることに疑問を感じませんでした。今薬剤師の立場となって、祖母は必要な薬を飲んでいなかったのだろうか、それとも不必要な薬が処方されていたのかと考えさせられます。

もし必要な薬だったのならしっかり飲んで欲しかったし、不必要な薬だったのなら処方されなければよかったのと思っています。

からたち薬局に来られている患者さんの中にも飲んでない薬がたくさん余っていたり、飲みたくないからと捨ててしまったりしている方はいませんか？

なぜ余ってしまうのか、なぜ飲みたくないのか等、私の祖母にはもう聞くことはできませんが、お話を聞かせていただけたら解決策が見つかるのかもしれない。日々より良い治療のお手伝いのできればと思っているので、いろいろお話を聞かせていただければ嬉しいです。気軽にご相談ください。

## 新職責者紹介

あんず訪問看護ステーション 副所長

理学療法士 遠藤誠

この度7月より、あんず訪問看護ステーションの副所長として勤務させていただいております。利用者の皆様が少しでも住み慣れた地域でより安心して暮らしていけるような支援ができる事業所を目指します。また、



職員が、各々得意な事を発揮できるような事業所運営を心掛けます。まだまだ至らない事が多いですが、事業所職員と一緒に私自身も成長し、一生懸命、職務に取り組んでいきたいと思っております。

## 運営推進会議の報告

看多機さんしょう 所長 南雲朋子

8月15日、約4年ぶりに対面での看護小規模多機能型居宅介護さんしょうの運営推進会議を開催致しました。事前の連絡が遅くなり出席者は総勢6名での開催でした。

(東部高齢者いきいき安心センター 高山さん・サボテン六高台 川井さん・幸樹会から 代表理事中野、からたち薬局管理薬剤師 松下、看多機さんしょう所長 南雲、看多機ケアマネジャー 岡本)

コロナ禍でのサービスの難しさや、人材確保についての意見交換など、充実した内容の会議となりました。

介護職員12名のうち11名が介護福祉士の資格を持っていることについては「素晴らしい」と誉めていただき、入職後も資格を取るための支援をしていることや、留学生を受入れ資格取得の支援をしていることなどをお話しました。サボテン六高台では、小児療養デイも運営していて、高齢者と小児がごちゃまぜに暮らしている。特に高齢者にとって良い刺激となっているというお話を伺いました。地域密着型サービスの良いところを活かしてお互いの取組みを認め合い、参考にしながら地域をより良いものにしていきたいです。

会議後はさんしょうの見学がてら地域交流カフェの様子も見ていただきました。次回は6月に延期になっていた回の振替えとなり、日程を変更して行います。

9月26日の11:00からです。多くの方と直接お会いできるのを楽しみにしています。

## 夏祭り開催しました



盆踊りはみんなの心をひとつに。

綿あめは、子どもからおとなまでふんわり甘い気持ちにさせてくれます。



## デンマーク便り...④

ラスムッセン 京子

RSV ウイルスが全国の小児科病棟を埋め尽くしている。生後 15 ヶ月のマレーネは、ウイルスの恐怖とベッド不足のために入院することができなかった。呼吸困難、肺の粘液、変色した皮膚は、ここ数週間、全国の病院の小児や乳児にとって珍しい光景ではない。

呼吸器感染症 RSV ウイルスの蔓延は、特に幼児の間で、全国の小児科病棟を埋め尽くしているウイルスに感染した数百人の子供たち：-最悪の事態を恐れている Hillerød にある Nordsjællands 病院の小児科病棟の状況は非常に悪く、病棟は完全に満床である。これは、小児科医会長であり、小児青少年科の主任医師であるアンネ・ルイーゼ・ビショフがテレビのインタビューに語ったものです。

- 今週のたった 1 日で、70 人の子どもたちが小児科の受付を済ませました。1 ヶ月前は、1 日でも多くても 50 人以下でした。ですから、入院病棟の方も一杯で、病気の子供を追い返さなければならぬと小児科医は説明する。彼女の印象では、これは全国的にそうなのだそうだ。アンネ・ルイーゼ・ビショフ氏は、「通常、RSV 感染はこのデンマークの首都圏から始まり、その後、他の地域に広がっていきます」と言う。

デンマークの RS ウイルス RSV 流行のピークは昨年 36 週で、全国で 1359 人が RSV に感染した。先週は 979 人が新たに感染した。昨年 39 週には、主に小児 380 人がデンマークの小児科病棟で RSV 感染より入院した。先週は主に 376 人の小児が入院した。現在、いくつかの病院では、急性疾患でない小児が治療を待たなければなら

ないほど状況が悪化している。- つまり、その病気に対して通常受けられるはずのカウンセリングが受けられないのです」と主任医師は言う。人手不足のため入院できなかったマレーネ RSV ウイルスの感染拡大をもたらした結果を実感している一人が、南ユトランドのログムクロスターに住む 37 歳のメッテ・ペデルセンである。数週間前、生後 15 ヶ月の娘マレーネが発熱と発作で倒れた。メッテ・ペデルセンによれば、通常であれば、



マレーネちゃんは脳波検査のために 3 日から 5 日間入院するはずだった。しかし、アーベンラー病院の小児科病棟は「RS ウイルスで人手不足」であったため、メッテ・ペデルセンは神経科医と相談し、マレーネを家に帰すことに同意した。生後 5 週間のミュウがウイルスに感染し入院：- 長い間、私たちと一緒にいることになるでしょう。- 神経科医の意見では、マレーネを小児科病棟に入院させれば、RS ウイルスに感染したまま帰宅するリスクがあまりにも大きすぎるとのことだった。私はマレーネをそんな目にあわせたくなかったのです：今年の RSV 感染者の急激な拡大にこの病院も他の疾患の子供たちの入院を大人病棟の方をお願いしたとはいえ子供の患者に慣れていない職員たちも対応に追われています。

### 八柱学習会のお知らせ

8 月の学習会は 14 名の参加でした。

▼次回学習会予定（「定例日：毎月第 3 金曜日」）

9 月 15 日（金）18:00～、あつまれ幸樹

テーマ：「介護事業の役割を考える」

報告

菊池雅彦氏（すこやか福祉会常務理事・幸樹会理事）

《参加自由》

今月の屋上太陽光発電量は、

1154KWh

幸樹会館電力使用量 6898KWh 自給率 16.72%



職員募集！非営利・働きがいある職場

看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり

問い合わせ：本部中野まで、☎047-701-7550